

事業計画変更について（西平井・鱒ヶ崎地区）

1. 事業の名称

流山都市計画事業西平井・鱒ヶ崎地区一体型特定土地区画整理事業

2. 事業概要

事業期間 平成11年3月1日～平成29年3月31日

事業面積 約40.1ha

(修正)

3. 事業進捗（平成27年度末）

事業費ベース 90.6%

面積ベース 91.8%

仮換地指定率 97.0%

4. 事業計画変更（案）について

【趣旨】

西平井・鱒ヶ崎地区では、H28年度末の工事完了に向け事業を進めているが、工事完了後に行う換地処分の手続きのため事業期間を延伸し、また、過年度実績の精査による事業費の見直しを行い、事業計画の変更を行うもの。

【変更概要】

事業期間の延伸 平成29年3月31日 ⇒ 平成31年3月31日

事業費の減額 166億1千8百万円⇒165億3千8百万円（8千万円減）

（支出）

主な増額要因（2億9千万円）

2条2項事業費、事務費

主な減額要因（△3億7千万円）

工事費、補償費

（収入）

主な増額要因（7億4千万円）

市費 55億5千万円 ⇒ 62億9千万円（7億4千万円）

主な減額要因（△8億2千万円）

交付金 23億3千万円 ⇒ 22億4千万円（△9千万円減）

保留地処分金 67億2千万円 ⇒ 60億6千万円（△6億6千万円減）

市有地売却金 6億7千万円 ⇒ 6億円（△7千万円減）

【変更手続】

- ・ 事業期間及び資金計画の変更は、「軽微な変更」に該当することから、縦覧等の手続が省略され、H29年度交付金要望を行うため、年度内に認可変更の公告を行っていく。

西平井・鶴ヶ崎地区一体型特定土地区画整理事業地区資金計画 第7回 事業計画変更(案) 資金計画 (収入)

都市建設委員会協議会配布
H28. 12. 8

資料-2

第6回変更計画 総額 16,618,000千円 うち市負担金(ア)+(イ) 5,548,232千円(a)

国費 2,326,700	県費 6,140	(ア)市費 1,922,160	保留地処分金 6,723,353 保留地処分単価 151,000円/㎡	公管金 1,336,670	(イ)市単独費 3,626,072	市有地売却金 676,905
補助事業費 4,255,000		単独事業費 12,363,000				
内示減による減 ▲0.9億円	国費減による負担の減 ▲0.7億円	販売実績及び販売見直しによる減 ▲6.6億円		補助事業費、保留地処分金、市有地売却金の減による増 +8.1億円	販売見直しによる減 ▲0.7億円	
国費 2,239,140	県費 6,140	①市費 1,850,520	保留地処分金 6,065,000 保留地処分単価 136,800円/㎡	公管金 1,336,670	②市単独費 4,436,037	市有地売却金 604,493
補助事業費 4,095,800		単独事業費 12,522,200				

約0.8億円の減

第7回変更(案) 総額 16,538,000千円 うち市負担金①+② 6,286,557千円(b)
(約0.8億円の減) (約7.4億円の増)(b-a)

(支出)

第6回変更計画 総額 16,618,000千円

築造費 1,763,355	移転移設費 損失補償費 5,527,293	2条2項 事業費 1,058,345	整地費 3,657,446	工事費雑費、調査費 3,154,775	借入金利子 事務費 1,456,786
区画道路築造費 の減 ▲0.3億円	移転対象家屋の見直しによる減 ▲1.9億円	下水道負担金の減 水道、ガス負担金の増 +0.4億円	擁壁見直しによる築造費の減 ▲0.8億円	工事費雑費の減 調査設計費の増 ▲0.7億円	借入金利子の減 事務費増による増 +2.5億円
築造費 1,728,387	移転移設費 損失補償費 5,332,892	2条2項 事業費 1,102,841	整地費 3,581,611	工事費雑費、調査費 3,083,581	借入金利子 事務費 1,708,688

約0.8億円の減

第7回変更(案) 総額 16,538,000千円
(約0.8億円の減)

事業計画変更について（鱒ヶ崎・思井地区）

1. 事業の名称

流山都市計画事業鱒ヶ崎・思井地区一体型特定土地地区画整理事業

2. 事業概要

事業期間 平成25年2月20日～平成29年3月31日

事業面積 約11.8ha

3. 事業進捗（平成27年度末）

事業費ベース 51.1%

面積ベース 32.2%

仮換地指定率 72.0%

4. 事業計画変更（案）について

【趣旨】

鱒ヶ崎・思井地区では、H28年度末の工事完了に向け事業を推進しているところであるが、工事完了後に行う換地処分の手続きのため事業期間を延伸する。また、低地部等で地盤が予想以上に軟弱であることが判明し、杭基礎や地盤改良等の工事費が増加すること及び東日本大震災（H23年3月）の影響により、労務費及び資材費の高騰による事業費の増加見込まれることから、事業計画の変更を行うもの。

【変更概要】

事業期間の延伸 平成29年3月31日 ⇒ 平成32年3月31日

事業費の増額 38億7千5百万円 ⇒ 48億5千5百万円（9億8千万円増）

（支出）

主な増額要因（10億7千万円）

労務費及び資材費単価高騰による工事費、軟弱地盤対策工事費

主な減額要因（△9千万円）

2条2項事業費

（収入）

主な増額要因（9億8千万円）

交付金 9億810万円 ⇒ 10億円（9千万円増）

市費 24億4千万円 ⇒ 33億3千万円（8億9千万円増）

【変更手続】

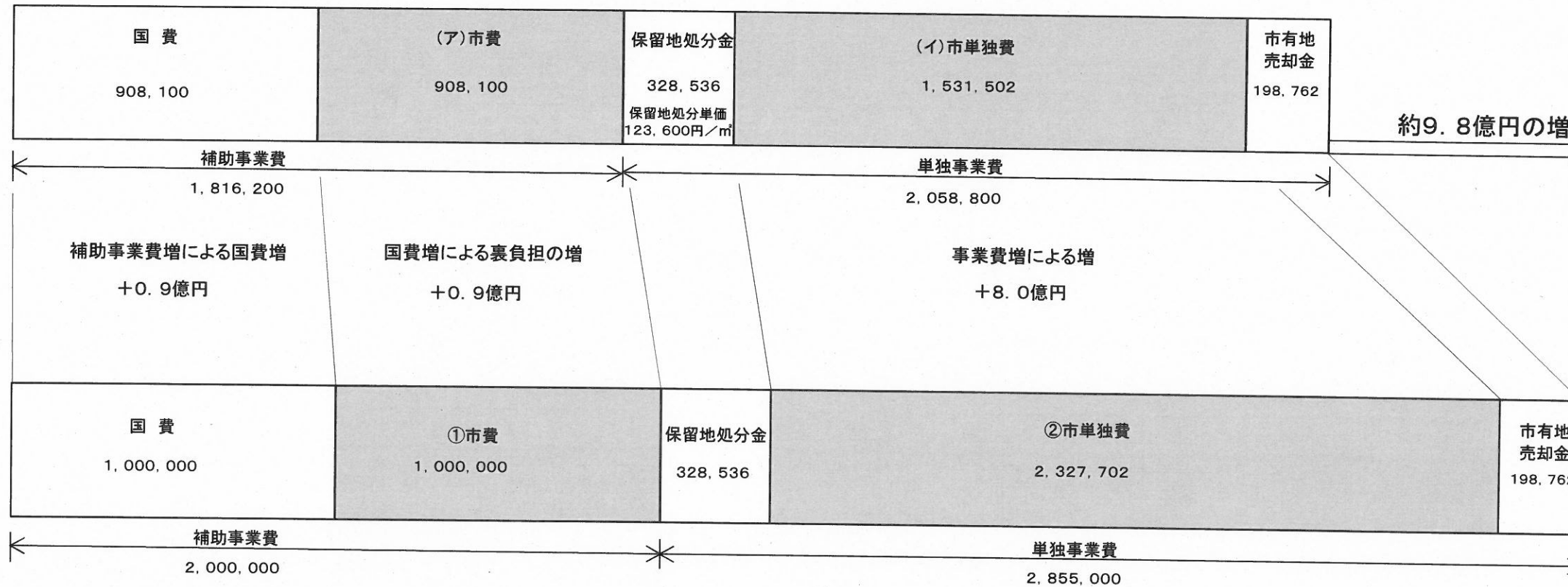
- ・ 事業期間及び資金計画の変更は、「軽微な変更」に該当することから、縦覧等の手続が省略され、H29年度交付金要望を行うため、年度内に認可変更の公告を行っていく。

儲ヶ崎・思井地区一体型特定土地区画整理事業 第2回変更(案) 資金計画
(収入)

都市建設委員会協議会配布
H28. 12. 8

資料-4

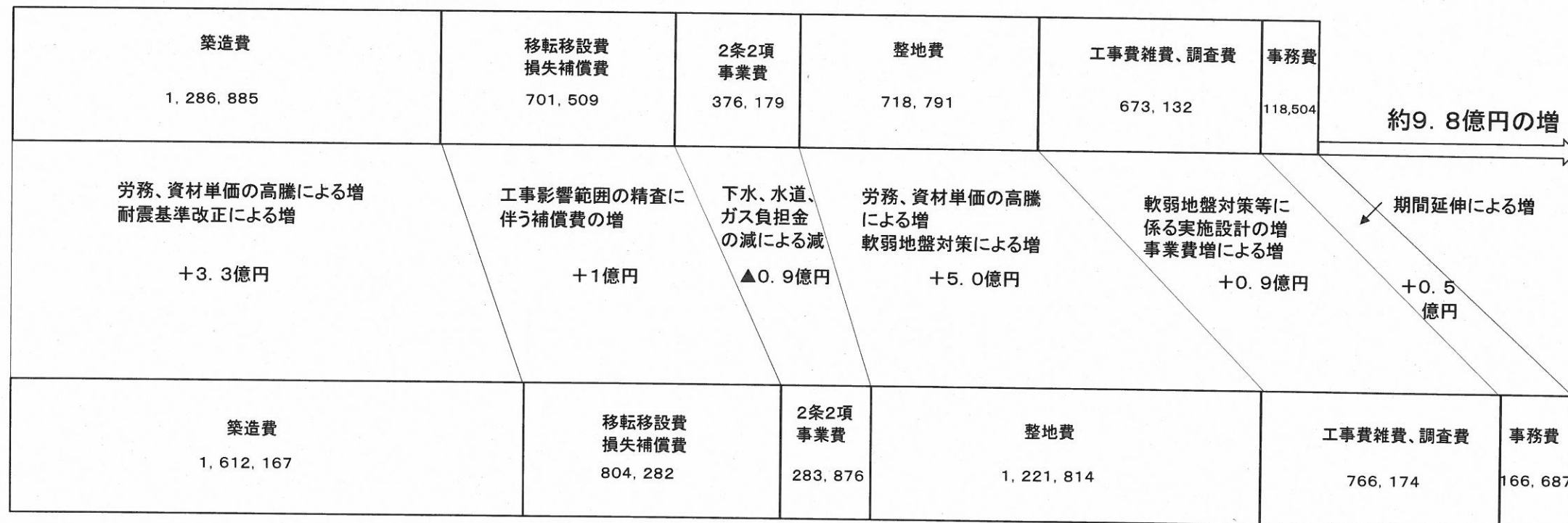
第1回変更計画 総額 3,875,000千円 うち市負担金(ア)+(イ) 2,439,602千円(a)



第2回変更計画(案) 総額 4,855,000千円 うち市負担金(①+②) 3,327,702千円(b)
(約9.8億円の増) (約8.9億円の増)(b-a)

(支出)

第1回変更計画 総額 3,875,000千円



第2回変更計画(案) 総額 4,855,000千円
(約9.8億円の増)

平成28年度
西平井・鱒ヶ崎地区及び鱒ヶ崎・思井地区 整備予定位置図



凡 例	
H 28 整備箇所	平成28年度盛土造成工事
H 27 整備箇所	平成28年度道路築造工事
整備済	平成27年度から工事継続中
	平成27年度工事完了箇所
	過年度整備済